

区長面談の記録（2006年6月15日、区長室にて）

○「みなさんに不快感を与えたという事実について、お詫びしたい。」

平野 すでに提出している要望書の回答をいただきたい。私たちの提出した要望書は読んでいらっしゃるよ、すよね。

区長 私のところへ届いたものは、それぞれの所管が組織で対応しています。彼らは私の代行として動いているので、私が直接会わなくとも、その人たちがあなた方に話し、それが私のところに帰ってくるというやり方になっているのです。

大木 担当部署の人は、「街づくり懇談会があるのでもうすでに民意は聞いている」と異口同音に言っています。しかし、懇談会は非公開・自由参加なしなので、街の民意を救ってきたとは言えず、担当部署の見解は事実には則していない。私たちは再開発計画の中止を求める510軒の署名を集めています。街づくりに民意を反映させなければならないことについて、区長はどのように考えるのですか。

区長 北沢総合支所でみなさまがたの意見が無視されたというような取り扱いがなされたことについて、首長としてお詫び申し上げたい。私は、室長・支所長にこの件については対応するようにとさんざん申し込んできたのです。

大木 前室長の堀さんからは、何らいつこうに反応がありませんでした。

区長 そういう指示をしているにもかかわらず、それが徹底されないで、みなさんに不快感を与えたという事実について、お詫びしたい。これはどこの地区もそうだけれども、その支所長は私に代わって対応しなければならないというのは区の方針ですから。

平野 僕らが会いたいと言って、年末から何日もの候補を設定して、会いたいと言っていたのに回答がなく、1月18日に私たちは区長に要望書を届けに来ました。しかしそのとき、区長室長は1月12月1月2月が年末年始で忙しいから会えないと回答した。私たちが区長に会いたいということを、区長は知っていたのですか。なぜ、メッセージを残すなどしなかったのですか。

区長 建設業界の新年会に行ったことは、責められるべきことではないでしょう。

平野 そうですが、2月には事業推進を求める商店会と会っているじゃないですか。

区長 懇談会の話？小清水さんに会った話？

久山 そうです。私たちには忙しいとおっしゃっている一方で、事業推進を求める商店会連合会には会っておられます。その対応の差がどこから来るのか？という問題です。

区長 差別して会うとか会わないという問題ではありません。

久山 このように4ヶ月待たされてきた経緯があり、担当部署である街づくり課がその間明確な回答をしてこなかったわけです。首長である区長は担当部署に代わり、回答する責務があるのではないですか。

区長 回答はしません。なぜなら、担当部署から報告は受けているけれども結論が出ていないからです。

大木 連合会との対応のいかんともしがたい落差はどのような事情に拠るのですか。

区長 私は12月から2月ころまでは、時間がないほど忙しい。なぜかというと、各所で新年会をやっているからです。新年会をやってくださっている方々は、世田谷区政をしっかり支えてくださっている方々です。その方々に日ごろのお礼を申しながら、ときには要望を聞くこともありますけれども、そういう気持ちで私は出来る限り現場に出ている。みなさんに会えなかったのは、所管との連絡ということがあるわけです。

○「所管からそのような話はまだ来ていないので答えられません。」

- 大木** 総合支所は同じことを金太郎飴のように繰り返し、回答をはぐらかしてきた経緯があるのです。これを踏まえて、今日首長として回答する責務がある。なぜ、回答をしないのですか。
- 区長** 私が皆様方に結論として申し上げることはありません。しかし、私が会わない会わないとおっしゃるので、会っているのです。
- 大木** 結論が出ていないという事実については理解します。けれど、この間も地区計画原案の説明会があり、粛々と計画は進められてしまっている。説明会がどうしても中止できないのですか？
- 久山** すみません、先ほど「結論が出ていない」とおっしゃいましたが、下北沢フォーラムが今朝街づくり課に会い、「ラウンドテーブルは設置しない」という回答をされています。私たちは要望書でラウンドテーブルの設置も求めてきましたが、この点についてはもう結論が出ているのではないですか。
- 区長** 所管からそのような話はまだ来ていないので答えられません。
- 大木** 区長さんがご自身の目と耳で、所管が民意を掬っているのかということは判断できませんか。
- 区長** 私がみなさんにお会いしているのと同様に、所管がみなさんのご意見をお伺いする、その上で、「こうしたい」と所管が判断したものがあれば私は結論としてそれを認めます。しかし、今の時点はそのような段階ではないのです。
- 久山** ラウンドテーブル設置に関して、報告がまだだということであれば、今お電話をかけられてはどうですか。
- 区長** そんな簡単な問題じゃないでしょう。

○「みなさんお帰りになったら、『区長に直接申し入れた』ということをお伝えください。」

- 山崎** 区長は下北沢が好きですか？
- 区長** 私は下北沢が好きだ。頻繁に訪れ、下北沢のことはだいたいわかっているつもりです。だから、落書き消しのときも行きました。
- 大木** それでは、ラウンドテーブル設置のイエス／ノーのご返事はいつされるのですか？
- 区長** いつということは答えられない。再開発するかどうかに関しても、私は区民の財産と生命を守ることを区政の最優先課題としています。だから、その経験上、あなたがたの要望に「はいそうですか」と従うわけではないということもご理解いただきたい。
- 大木** 再開発されると、大手資本が入ってきて、私たち小規模経営の商業者はかなり逼迫してしまう可能性が高い。現実待ちづくっている私たちは、当事者です。今日は、そういう人たちの代表として来ているのです。少なくとも、区長さんが現段階で申し述べられる回答をいただかねば、我々は何のためにここに来たのか意味がわかりません。
- 区長** 私は下北沢を愛しています、都議会議員のときからとてもよく行っていました。それは好きだからです。だから、街をよくしたいということではみなさんと一致している。その手法がどのようなものがふさわしいかということについては、私は今日みなさんからはじめて生の声を聞かせていただいた。とにかくお会いしたわけです。みなさんのお話を初めて聞かせていただいたわけです。
- 大木** 今まで同じことを再三、要望書で私は申し伝えてきましたので、「初めて」という言葉は納得しかねます。
- 区長** 今は結論が出ていない段階ですので、今日みなさんのお話を伺っているわけです。
- 平野** 結論が出ている段階ではないので、これから住民や商業者が一堂に会して話し合うラウンドテーブルが必要ですよね。区長さん、必要だとお考えになるか、イエスかノーでお答えください。

区長 検討させていただきます。

平野 検討って、国会答弁じゃないんだから、困ります。区長さんはどう思うんですか？答えられないなら一般的でもいいです、みんなが話し合うための場って、必要ですよ？

区長 今日あなたたちにお会いしているのは、一市民としてではないのです、区長として会っているのです。区というのは組織があるのですから、私はこの問題については北沢支所長に、検討するよというように指示しているのです。まだ「こうしたいです」という報告を受けていないから、今日の話をつまえた上で決めさせていただきます。

大木 区政はリーダーを取る区長が自分の意見を申し述べるのは、自由なのではないですか。区長の考えが、区政に反映されることがあってしかるべきなのではないですか。それゆえに、区長が代われれば区政が変わっていくのではないですか。

区長 私もこの三年、区をいろいろと変えてきたのです。今日いずれにしても、初めて生の声を伺いました。ですからその声を踏まえて、所管と話をします。

久山 いつもそのように、所管に回答を延期されてきたんです。

大木 担当部署に同じ言葉を原稿を読むような口調で伝えられるということ、これまで幾度となく繰り返してきたのです。今回区長さんに直接会えるので、多少の期待はしてきたわけです。我々は4ヶ月待たされてきたわけですから、区長さんなりの熟考を重ねたご意見を聞かせていただけたらと思います、来たわけです。区長さんは初めてお会いするとおっしゃいますが、私たちは要望書を出してきたわけですから、回答は出来るのではないですか？

区長 私は、今日は回答はできません。みなさんお帰りになったら、「区長に直接申し入れた」ということをお伝えください。「区長が検討すると言った」ということもお伝えください。所管の長に、今日こんな話を聞いたよということをお伝えした上で、早急に検討し結論を早く取りまとめるよというように指示し、それを返事させていただきます。

大木 私たちは、区長さんご自身の見解を伺いたいわけですから、また区長さんの方から「会いたい」ということは連絡していただければいいのでしょうか。

区長 情勢を踏まえて、お会いする日をまたご指定させていただきます。

#### ○ 「最後には、私が責任を持って決断をします。」

平野 これだけちょっと聞かせてください。5月26日に説明会があり、100人以上の人間が中に入れなかった。にもかかわらず、担当部署は「説明会は成立した」と見なしています。これについて、区長はどう考えますか？説明会は成立したとお考えですか？

区長 私は現場にいなかったですが、担当部署から連絡は受けています。

久山 成立したのかしていないのか、イエスかノーでお答えいただけますか。

区長 成立していると思いますよ。

山崎 区民の意識と大きな乖離があると思います。

平野 東会商店街に加盟している僕が、商店街から何の説明も受けていない。なのに、商店街を介して説明は済んだと区はみなしている。このような状況を今日お話しして、区長はどのようにお感じですか。

区長 私は、過程については報告を受けていない。「こうなりました」という報告は受けていますよ。

久山 今現状を聞かれて、どのようにお感じですか？

区長 どなたが東会に入っているのかということは、わかりません。

平野 だから、僕は東会に入っているのですが、この件に関して書類ひとつ回ってこない。それなのに、商

店会を介して説明は済んだなどと言っている。もう一遍、説明してくださいよ。あなたは先ほどから担当部署の報告を鵜呑みにするだけだ。じゃあ、何のために今日我々に会っているのですか。

**区長** だから、今日はみなさんの話を聞くために会っているのです。

**大木** 区長主導で、開かれた協議会の設置を急ぎませんか？と申し立てているのです。

**区長** 私は84万の区民の首長です。その責任を果たすためには、手順を踏みます。つまり、組織を大事にするということです。北沢の所長に、対応するようにと指示します。

**大木** ですから、今まで北沢支所から適切な対応がされていないわけですよ。

**区長** とにかく支所長に早急に取りまとめを出すようというのを指示し、そしてその時宜を見て、あなた方にご連絡します。

**大木** それはいつですか？

**区長** それには答えられない。

**久山** 先日の都市計画審議会で、慎重に審議すべきだという意見が多数だったのです。この意見を踏まえてどのように思われますか？

**区長** 詳しい報告を受けていない。意見がまとまってきているということは聞いている。

**大木** まとまっているというのは、「慎重な審議が必要である」ということでまとまってきているのです。いかがでしょうか？

**区長** ある程度まとまっているという報告は受けており、その時期に向けてそれは進めていく。その前に、あなた方の意見を聞くなどしているわけです。

**平野** 慎重に、ということですか？

**区長** そうです。

**平野** じゃあ、計画はいったん止めるわけですよね。

**区長** いや、それはないです。

**平野** それは、慎重ではないではないですか。

**区長** あなたは進めることは慎重じゃないと言うが、他の人はそうではない。

**平野** だって、今都市計画審議会でも、もう一回慎重にとっているのだから、計画はストップさせる必要があるではないですか。

**区長** 慎重に考えた上で、進めるという選択肢もあるでしょう。

**平野** こんな無謀な都市計画に対して、日本中、いや下手したら世界中の人が見ている。これを実現させたら、区長さん、やばいですよ。歴代の世田谷区長の汚点になりますよ。

**区長** あなたが言ってることは、世界のみんなが「そうさそうさ」と言うわけではないでしょう。賛成の人がいるのはどうしてなの？

**大木** だから、賛成の人も含めてラウンドテーブル作りをしましょう、とさっきから再三申し立てているわけじゃないですか。どうしていけないんですか？街づくり懇談会が上げてきた地区計画プランだから、粛々と進めて構わないということですか？慎重な審議を求めるといふあらかたの意見が、都市計画審議会や都市整備委員会から上がっているわけじゃないですか。ですから、慎重な審議をするためのラウンドテーブル設置を、区長主導でやってください、というわけです。

**区長** 最後には、私が責任を持って決断をします。しかし、それまでは所管が大事です。これから所管を呼ぶなりして話を聞いて、それを早急に取りまとめしてからご連絡いたします。

**大木** 会う用意はおありなのですね。

**平野** 「粛々と進める気はない」のですよね？

**区長** 前に行くのか下がるのかも、粛々と検討するのです。

平野 ということは、いったん止めるのですよね。

区長 だから、事情を聞く、と言ってるのだよ。

久山 具体的に、どれだけの期間検討されるのですか？

区長 それは言えないと言ってるじゃない、さっきから。

山崎 全部そうやって、逃げてきてるじゃないですか。あなたが会うのは初めてでも、私たちはこの4ヶ月間、一生懸命…

区長 今も聴いたよ、その話は。

山崎 下北沢で今までみんな、それこそ「粛々と」営業して、ここまで来てるんですよ。その人たちの意見を、どうして汲み上げないのですか？

区長 賛成の人がいるのはどうしてなの？

大木 「下北沢フォーラム」が取ったアンケートでは、今の都市計画には異論がある、という意向がきちっと出てるじゃないですか。アンケートの結果はご覧になってませんか。

平野 こういうアンケートを区がまた実施して、それをもとに計画を見直す気はありますか？

区長 アンケートは尊重しますが、必ずしもそれがすべてじゃないですから。

平野 さきほどから、賛成の人もいるということが大義名分になっているわけじゃないですか。ですから、賛成の人と反対の人の割合がどれくらいかをきちんと理解して、反対の人の意見を生かすようにしていただきたい。

大木 これは（「下北沢フォーラム」の資料を見せながら）、専門家グループの「下北沢フォーラム」というところが相当な努力の結果、調査をしました。このように、現在の計画はおかしいという意見が過半数を超えてるわけですよ。それから、「もっと十分な審議をすすめるべきだ」という意見が70%も出てるわけですよ。

区長 これは回収率の中身の人の意見でしょ。参考にはするけど、これだけじゃないよね。

平野 こういうアンケートを、区がされてはいかがですか。

区長 だから、「検討する」と言ってるじゃない。

大木 代表として私は来てるわけですから、回答をいただかねば我々はなぜここに参加したのかわかりません。

区長室長 今日の会見は、大木さん・久山さんとお話したとおり、商業者協会の方々のご主張を、都市整備委員会からも陳情が出ていますし、区長がどういった主張なのかということをお聞きしたいんだということで、セッティングしたのです。

区長 これまでお話したとおり、指示した所長を飛び越えることはだめで、私は組織的に対応します。所管にまとめさせたものを持って、あなたたちにお会いしたいと思っています。いつなんどきというお話はできません。

大木 区行政としては、現在の計画を粛々と進めているわけですから、急がなければいけないわけですよ、われわれとしても。

区長 ですから、今日お会いして私もある程度、認識をもちました。その認識をもとに、所管を呼ぶなりして話をし、また指示もして、それでまとめさせたものをもって、お会いいたします。いつまでに、ということではなく。

青樹 一年後ということになっては困ります。

区長 振り返っていても仕方がないから、前を向いていきましょうや。

青樹 それはそうなんですけれど…。

久山 なぜ会う時期すら決められないのですか？理由を教えてください。

区長 だから、検討させてもらおうと言ってるじゃないの。

久山 それは、会う時期を約束できない理由ではないじゃないですか。

区長 だったら、あなた方が理由を勝手に考えればよいでしょう。

平野 会う時期は決められなくて、理由はあなた方が考えろ、というわけですね。

区長 そんなこと言ってないですよ。

久山 いや、おっしゃいましたよ。

区長室長 今回の面会のご日程の話ですが、今日はじめてお話を伺っているわけで、今区長はいついつ会うと  
いうことを決めるお立場にないです。

平野 アバウトな日程でいいですから。

大木 例えば、次回の都市計画審議会までにということはどうですか。

区長 とにかく、所管と早急に会います。そして、早急に対応させていただきます。

平野 だから去年の末から 4 ヶ月も待たされて、はっきり言って信用できないんです。信用できないから、  
俺たちこう言ってるんです。

区長 だから前向きに進みましょう。それが信用できないと言ったら、会えないじゃないの。

大木 平凡な言い方ですけど、今まで我々は「逃げられてきた」わけですから、アバウトに7月いっぱいな  
ど区切って「会いましょう」という約束をほしいんです。

区長 アバウトに決めるような案件じゃないじゃないの。

平野 だから、これまで所管が逃げ回ってきたと区長が言ったわけだから…

区長 職員が逃げ回ったなんて、言ってないよ。

久山 お話の最初のほうに、支所長が私たちの要望を無視してきたことをお詫びされましたよね。何に対し  
てのお詫びなのですか？

区長 北沢を愛する人たちの中で混乱をこれだけきたしているということは、首長としてお詫びいたします、  
ということです。

久山 混乱を来たしている原因が北沢支所長にあるので、お詫びしているわけですよ。

区長 違うよ。いろいろなところに理由があるでしょう。おたくの方にも理由があるでしょう。ただ、今ま  
でスムーズに進んでいなかったということは事実だと思いますので、そのことについてはお詫びいた  
します、というわけです。

平野 普通だったらお詫びしたらそのことへの代案で、「じゃあこうしましょう」というのが出てきますよ  
ね。これだけ混乱してるのは、区長の責任です。だから、ラウンドテーブルの設置を区長主導で願  
いします。

区長 だから、そのことも含めて検討いたします。

区長室長 今日はみなさんと会談をもちご意見を聞かせていただきました。これから他の人の意見も聞いた  
上で担当部署から話を聞いて総合的に判断し、再び回答するというので、よろしく願いいたしま  
す。

大木 今朝9時半から行われた「下北沢フォーラム」が拠点整備一課と会った報告を、記者会見がありまし  
たからそれをそばで聞いていたら、「下北沢フォーラム」が作った「市民案」は検討対象にならない、  
だからあなたたちの聴く耳は持たない、と言っているわけです。

区長 そこは言ってるけど、私はそうじゃない、と言ってるの。

大木 そこらへんに齟齬があるのですね。